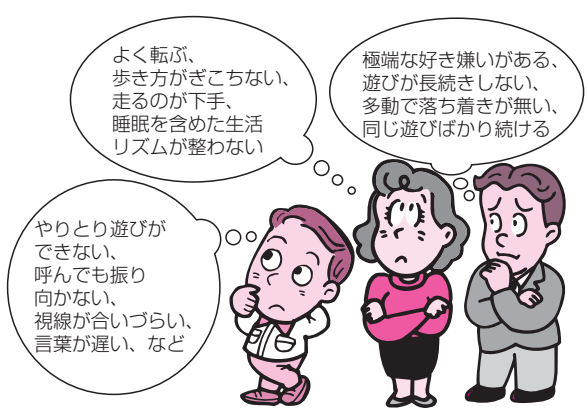


ご相談ください 子どもの発達

のぞみ園は、心身の発達に心配のあるお子さんが、保護者と一緒に通園する「肢体不自由児通園施設」として昭和49年に開園。国の制度改正などに伴い、平成15年度からは「児童デイサービスセンター」となり、平成18年度からは保育所や幼稚園など、子どもに関わりのある機関と連携しながら、お子さんの発達支援を行っています。発達というのは、子どもが大人へと成長していく過程で見られる心身の変化のことです。

子どもの成長や発達には個人差があります。また、発達には順序や道筋があるといえます。正しい運動発達の順序をたどらなかつたために、後々になって運動面での問題を起こすお子さんもいます。発達の小さなつまづきや個人差から逸脱したペースが『育てにくさ』や『関わりの取りづらさ』につながることもあります。それは、『親のしつけの悪さ』や『子どものわがまま』とは別の



ものと考えていいでしょう。

『なんとなく育てにくい』『どうしたらいいのだろう』『誰か相談できる人はいないだろうか』などの悩みをお持ちのお父さん、お母さん。のぞみ園では、0歳から18歳までのお子さんの発達についての相談を、無料でお受けしています。

お子さんの発達について心配のある方は、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 児童デイサービスセンター『のぞみ園』（鉄南ふれあいセンター内 ☎ 7721）

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち Group

育児サークル『MMCママサー』



育児サークル『MMCママサー』は、子育て支援センターが開催している『あそびの広場』に参加したママが中心になり、平成18年に結成されました。

現在、会員は7家族で、毎月第2・4火曜日に市民会館やおれすと鉦山などで活動しています。

「あそびの広場が終わり、もっとみんなで活動したいという思いでサークルを始めました」と話すのは代表の木村由起さん。

「ママサーは市内に居住する1歳以上のお子さんとその親を対象にしています。毎回、楽しく、仲良く、親子で遊ぶをモットーに活動しています。パパも交えた家族ぐるみの活動もしているんですよ。昨年は、若草小学校5年生の児童との交流やおれすと鉦山での自然体験活動、クリスマス会など、

楽しく、仲良く、パパも交えた家族ぐるみで活動しています



たくさんのイベントを企画して楽しみました。今年はジャガイモの収穫やミニ運動会などを企画していますので、一緒に活動してみたいという方は、ぜひご連絡ください」と木村さんは入会を呼び掛けていました。

イベントの企画などを行っている和田朝美さんは、「サークルのみんなが家族みたいですごく楽しいです。登別出身ではないので友だちがあまりいませんでしたが、子どもを通してたくさんの友だちができました。子どもの病気や子育ての悩みなどを情報交換できるのもいいですね」と楽しそうに話してくれました。

入会を希望される方は、木村さん（☎ 3551）までどうぞ。
※ホームページ <http://www.raki.jp/one/user/kantamama/>